令和８年度第２回三重県議会「議員勉強会」開催要領

■　目　的

昨今、子どもたちがスマートフォンを手にするのが当たり前の時代となり、健康面や依存のリスク、発達への影響が懸念されています。

そのような中、スマートフォンの利用を制限する条例を策定した自治体や、ＳＮＳの利用を制限する法律を制定した国も存在しています。

そこで、スマートフォン等の使用が子どもの発達や健康面に与える影響等について有識者から学び、今後の県議会における議論の参考とします。

■　日時・場所

令和８年 12 月 17 日（木）14 時 00 分～15 時 30 分
三重県議会議事堂３階　全員協議会室

■　講　師

川島　隆太　氏
東北大学加齢医学研究所　応用脳科学研究分野　教授

脳科学と心理学の融合で子どもの発達や脳の仕組みを解明し、産学連携による研究にも尽力している。

著書は、「スマホはどこまで脳を壊すか」「オンライン脳」「川島隆太教授の大人の脳活力ＵＰドリル」など多数。

■　演　題

スマートフォン等の使用が子どもの発達や健康面に与える影響

令和８年度 第２回三重県議会 議員勉強会



スマートフォン等の使用が子どもの発達や健康面に与える影響

昨今、子どもたちがスマートフォンやタブレット端末を手にすることがごく当たり前の時代となりました。その一方で、長時間の使用による視力低下やデジタル依存のリスク、さらには心身の健全な発達への影響が懸念されています。

そのような中、スマートフォンの利用制限に関する条例を策定した自治体があるほか、海外においては、青少年の健全育成や情報モラルの観点から、ＳＮＳの利用を制限する法律を制定した国も出てきています。

今回の勉強会では、県議会における議論をさらに深めるために必要な視点等についてお話を伺います。

講師　川島（かわしま）　隆太（りゅうた）　氏

東北大学 加齢医学研究所
応用脳科学研究分野　教授



1989年　東北大学大学院医学研究科 修了(医学博士)
1991年　カロリンスカ研究所(スウェーデン王国) 客員研究員
2006年　東北大学加齢医学研究所(脳機能開発研究分野) 教授
2014年　東北大学加齢医学研究所 所長
~2023年
2017年　大学発ベンチャー(株)NeU 取締役
（現在に至る）

「脳科学と心理学の融合で子どもの発達や脳の仕組みを解明し、産学連携による研究にも尽力している。

著書は、「スマホはどこまで脳を壊すか」「オンライン脳」「川島隆太教授の大人の脳活力ＵＰドリル」など多数。

2026/12/17（木）14:00～15:30

場所：三重県議会議事堂３階　全員協議会室

問合せ先：三重県議会事務局企画法務課　芦田
TEL 059-224-2879　FAX 059-229-1931　mail：gikaik@pref.mie.lg.jp